

平成18年度化学物質環境実態調査結果 地域別データ

調査名：詳細環境調査

調査媒体：生物 (ng/g-wet)

地方公共団体：川崎市

試料採取機関：川崎市公害研究所

調査地点及び魚種：川崎港扇島沖 スズキ

調査対象物質	測定値 (評価値)			報告時 検出下限値	検出下限値
	検体1	検体2	検体3		
[4] アルディカーブ	nd	nd	nd	0.0016	0.0016
[6] <i>N,N'</i> -エチレンビス(ジチオカルバミン酸)及びその塩類	nd	nd	nd	0.13	0.13
[12] 3-(3,4-ジクロロフェニル)-1,1-ジメチル尿素 (別名：ジウロン又はDCMU)	0.056	0.064	0.064	0.0019	0.0019
[14] 2,4-ジ- <i>tert</i> -ブチル-6-(5-クロロ-2 <i>H</i> -1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)フェノール	1.2	0.73	1.4	0.004	0.004
[15](<i>N,N</i> -ジメチルジチオカルバミン酸)及びその塩類	nd	nd	nd	0.3	0.3
[18] 水素化テルフェニル	0.10	nd	0.81	※※0.52	※※0.52
[18-1] 水素化テルフェニル(HT242a)	nd	nd	0.18	0.08	0.08
[18-2] 水素化テルフェニル(HT242b)	nd	nd	0.16	0.09	0.09
[18-3] 水素化テルフェニル(HT242c)	nd	nd	nd	0.02	0.02
[18-4] 水素化テルフェニル(HT242d)	nd	nd	nd	0.05	0.05
[18-5] 水素化テルフェニル(HT236a)	0.10	nd	0.34	0.10	0.10
[18-6] 水素化テルフェニル(HT236b)	nd	nd	0.13	0.09	0.09
[18-7] 水素化テルフェニル(HT236c)	nd	nd	nd	0.09	0.09
[24] トリクロロニトロメタン (別名：クロロピクリン)	nd	nd	nd	0.3	0.3
[26] 1,1-ビス(<i>tert</i> -ブチルジオキシ)-3,3,5-トリメチルシクロヘキサン	nd	nd	nd	0.03	0.03
[27] ヒドラジン	4.1	1.7	nd	1.2	1.2
[30] 2-(2-ベンゾチアゾリルオキシ)- <i>N</i> -メチルアセトアニリド (別名：メフェナセット)	nd	nd	nd	0.3	0.3
[31] 2-(2 <i>H</i> -1,2,3-ベンゾトリアゾール-2-イル)-4,6-ジ- <i>tert</i> -ブチルフェノール	0.13	0.062	0.19	0.003	0.003

(注1) nd：不検出

(注2) ※※は同族体ごとの検出下限値の合計とした。

(注3) 水素化テルフェニルについては、標準物質（工業製品）のクロマトグラムにおいて得られた7ピークのうち、分子量242のものをHT242a～HT242d、分子量236のものをHT236a～HT236cとして、測定・定量した。